

県政 だより あきた 新時代

NPOでつくる、つなげる、みんなの秋田 ②

県北部エコタウン計画 ④

平成11年度12月補正予算の主な内容 ⑤

あんな声・こんな声 ⑤

TOPICS北から南から ⑥

登場 秋田の元気人 ⑦

イベントあれこれ ⑦

春夏秋冬こぼれ話 ⑦

秋田県からのお知らせ ⑧

'99年度
vol.10

平成12年1月25日発行(第52号)

[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県広報課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

TEL 018-860-1073

「県政だより」は県内全世帯にお届けしています。ご近所で未着の方がございましたら、市町村広報担当課または県広報課までお知らせください。ご感想をお寄せください。



NPOで つくる、つなげる、 みんなの 秋田

(パートナーシップによる
地域社会づくり)

特定非営利活動促進法(NPO法)が、平成10年12月に施行されて1年が経過しました。NPO(Non Profit Organization)とは、ボランティア団体等の民間の非営利組織のことをさします。秋田県では、現在約1,200グループ、16万人もの人々が福祉などのボランティア活動に取り組み、年々その数は増加しています。

県では、県民の皆さんがボランティア・NPO活動への理解を深めていただき、気軽に参加できるように、意識の啓発やサポート人材の育成、情報の一元化・共有化などの環境整備に努めていきます。



21世紀はNPOの時代

行政や企業では対応が難しい地域の課題を自分たちで解決していこうとする人々が、NPOを結成して自発的に社会参加活動を行っています。

行政や企業と共に手を取りあって、多様なニーズにきめ細かく対応した活動を行うことで、地域社会で大きな役割を果たしていくことが期待されています。

NPO法人化のメリット

NPO法は、福祉・環境保全・まちづくりなどの分野で活動を行うボランティア団体などが法人格を取得するための基準や手続きを定めた法律です。

NPO法人となることで、不動産登記や銀行口座の開設も法人名義でできるなど、法的な立場が明確となり、社会的信用が高まります。

全国では、平成11年中に1000を超えるボランティア団体が法人化されています。

NPO法

昨年、県内に誕生した9つの NPO法人の設立目的と活動内容

1. いきがいづくりサポートセンター (秋田市)

「いきがいづくり支援」

高齢者のいきがいづくりのための企画、アイデアを提案しながら、輪を広げていくことを最優先に考えています。また高齢者のボランティア活動に対する支援にも積極的に取り組んでいきます。



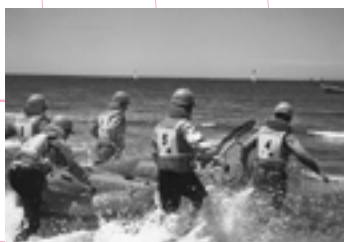
TEL018-883-0555

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/ikigai/WEB.html>

2. 秋田県水難救済会 (秋田市)

「水難事故の予防と救助活動支援」

日本水難救済会秋田支部として昭和10年に発足以来、水難事故防止の啓発活動や救助活動にあたる救難所への器具配備、各市町村水難対策事業への助成等を実施してきました。NPO法人化を機に、秋田県水難救済会と改称、公益活動組織として地域



社会の安全に努めます。

TEL018-860-1564

3. あきたNPOセンター (秋田市)

「ボランティア・NPO活動の啓蒙及び支援」

NPO(組織)とその基本であるボランティア(人)を育てるため「ボランティア・NPO活動コーディネーター養成講座」や「災害ボランティアコーディネーター養成講座」等の企画・実施のほか、東北6県を対象にした調査研究やフォーラムの開催も計画しています。

TEL018-831-8412

4. まちづくりトライ・アングル (秋田市)

「まちづくりに関する提言、情報提供、困りごと相談」

行政とのコンタクトをより緊密に図りながら、高齢化社会に向けた福祉住宅を中心とした都市計画、公共交通の新たなビジョン、秋田市における中央街区の再開発計画の三つのテーマについて提言を続けていきます。



TEL018-883-1020 <http://www.merea.or.jp/try/>

5. 尚徳館 (雄勝町)

「まちづくりの推進を図る活動」

各種イベントや事業等を通じて、もっと地域に密着した地道な活動を心がけて、活気ある「まちづくり活動」を推進していきます。

TEL0183-78-6011 a-komati@yutopia.or.jp

6. ニューハピネス扇寿 (能代市)

「高齢者、身体障害者の生活支援」

4月からスタートする介護保険制度のもとで、一人ひとりが自発性や助け合いの心を持って福祉活動を進めるため、NPO法人としての高齢者、身体障害者の生活支援活動を行います。

TEL0185-70-1203

7. 高齢者の楽園ジェロントピア (秋田市)

「高齢者の楽園づくり」

高齢者や障害者の自立と相互扶助のための楽園(ジェロントピア)を住民の手で創出していくことを目指し、そのための企画やアイデアを提案するシンクタンクの役割を志向しています。

TEL018-829-3000 <http://www.fuel.co.jp/gerontopia/>

8. 秋田バリアフリーネットワーク (秋田市)

「バリアフリーのまちづくり」

地域に住む人々の行動範囲を広げ、生活を楽しめるように、使いやすい公共交通や分かりやすい案内を目指して、バス停、市街地案内図等の提案や、市民の立場に立ったバスシステムの提案を行います。また、公共施設のバリアフリー化の提案を行っていきます。

TEL018-836-0063



9. 一番星きらら (鷹巣町)

「高齢者のための生きがい活動」

毎日通所型の高齢者施設を設置し、生きがい活動として、花や野菜作りなどの共同作業を行います。また、東洋医学を取り入れた健康づくりのための体操を普及実践します。

TEL0186-62-2530

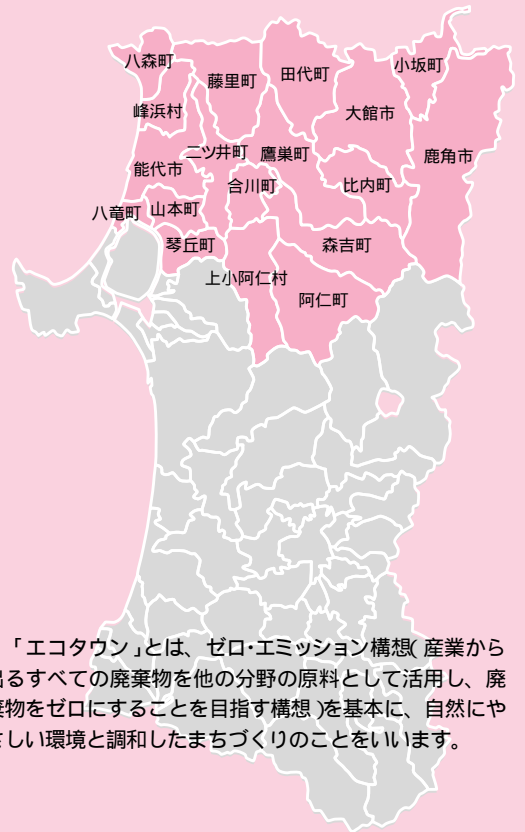
NPO法についてのお問い合わせは、
県民生活課余暇生活班まで

TEL:018-860-1520

FAX:018-860-3891

<http://www.pref.akita.jp/seikatu/bukka/ca030.htm>

自然にやさしい環境と調和したまちづくりを目指して 県北部エコタウン計画



いま、一般家庭や産業等から排出される廃棄物の量が増大し、その処分が大きな問題となっています。

その一方で、必要な資源の大部分を輸入に依存している私たちにとっては、これら廃棄物から得られる資源を有効に活用していくことが強く求められています。

県と鹿角市、大館市、能代市など県北18市町村では、「秋田県北部エコタウン計画」を策定し、11月12日に国の承認を受けました。

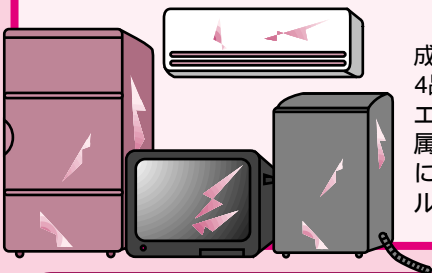
これは、製錬や選鉱などの地域に蓄積された鉱業技術を活用して、使用済み家電製品のリサイクル(再利用)など新しい資源循環型の生産システムを目指すものです。

また、この計画は、県北18市町村にまたがる全国でも類を見ない広い地域を対象とした計画です。

「エコタウン」とは、ゼロ・エミッション構想(産業から出るすべての廃棄物を他の分野の原料として活用し、廃棄物をゼロにすることを目指す構想)を基本に、自然にやさしい環境と調和したまちづくりのことをいいます。

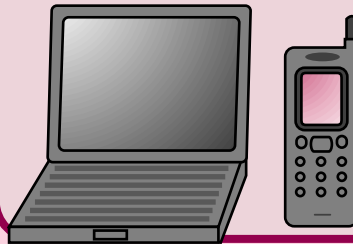
県北部エコタウン計画の主な事業

家電リサイクル事業



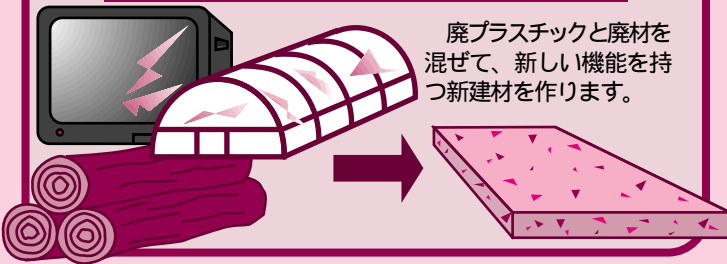
家電リサイクル法(平成13年4月施行)の指定4品目(テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機)を金属とプラスチックなどに分解して、リサイクルを推進します。

リサイクル製錬拠点形成事業



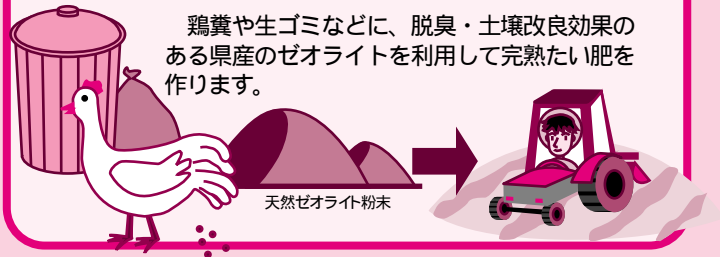
分解されたパソコンや携帯電話の基板等を製錬して、新たな原料を作ります。

廃プラスチック廃木材建材化事業



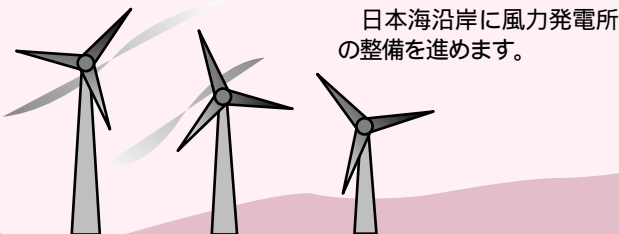
廃プラスチックと廃材を混ぜて、新しい機能を持つ新建材を作ります。

コンポストセンター整備事業



鶏糞や生ゴミなどに、脱臭・土壌改良効果のある県産のゼオライトを利用して完熟たい肥を作ります。

大規模風力発電事業



日本海沿岸に風力発電所の整備を進めます。

リサイクルプラザ整備事業



空き缶や空き瓶などをリサイクルするリサイクルプラザもしくはリサイクルセンターを4カ所に設置します。

エコタウンシンポジウム啓蒙普及事業



資源循環型社会に対する認識を高めるために、啓蒙普及活動を行います。

計画の内容をさらに充実させるため、県民の皆さんの新しいアイデアをお待ちしております。性別、年齢、職業、市町村名をお書きのうえ、下記あてお寄せください。

〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1
県資源エネルギー課エコタウン班
TEL 018-860-2283
FAX 018-860-3814

平成11年度 12月補正予算の主な内容

[12月補正予算で追加された主な事業]

平成11年度の12月一般会計補正予算は総額494億543万9千円で、国の経済新生対策に基づく国庫補助事業や当面緊急を要する県単独事業について、予算化したものとなりました。

補正後の予算は8,209億4,996万8千円で、昨年度の12月臨時会補正後と比べて7.2%減となっています。

経済新生対策関連

41,808,536千円

国の経済新生対策に基づく公共事業をはじめとする国庫補助事業を予算化しましたが、その内訳は次のとおりです。

河川、ダム、道路橋りょう等の一般公共事業 35,431,554千円

河川、道路橋りょう等の国直轄事業負担金 4,904,560千円

老人福祉施設整備事業等の国庫補助事業 1,472,422千円

稲作農家緊急経営安定資金融通措置事業

23,415千円

これまでの米価下落に対する資金融通措置に加え、新たに夏期の高温障害による品質低下に伴う稲作収入の減少に対応するため、貸付対象経費の拡大や貸付対象者の拡充等を行い、稲作農家の経営の安定を図ります。

- ・融資限度額 3,000千円 5,000千円
- ・融資枠 1億 12億
- ・貸付利率 1%(農業者負担率)

県北部エコタウン事業

260,000千円

資源循環型社会をめざす「秋田県北部エコタウン計画」が11月12日、国の承認を受けたことから、計画している事業のうち家電リサイクル事業について助成します。

- ・補助対象企業 株式会社エコリサイクル(大館市)
- ・補助金額 260,000千円(国250,000千円、県10,000千円)
- ・事業内容 家電リサイクル法施行に向けたテレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機のリサイクル工場の施設整備(総事業費約5億円)

市街地再開発事業(日赤・婦人会館跡地等地区)

1,559,209千円

秋田市中通の県有地に隣接する秋田赤十字病院跡地を取得し、中心市街地の活性化プロジェクトを支援します。

- ・取得価格等 2,011,665千円(4,986.81㎡)
(うち土地開発基金取得 452,456千円・1,013.15㎡)



秋田赤十字病院跡地

予算に関する詳しい内容は「美の国秋田ネット」の財政課のページに掲載しております。ホームページアドレス <http://www.pref.akita.jp/daimei/zaisei.htm>

あんな声 こんな声



問 県産品の通信販売ホームページについて

他県のホームページでその県の物産を購入しました。秋田県でも実施してはどうでしょうか。(電子メール「秋田県への提言」より)

- 答:(財)秋田県物産振興会が平成11年12月10日からホームページ「秋田の物産」(<http://www.bic-akita.or.jp/bussan/>)において、県産品の通信販売を開始しました。きりたんぼなどの郷土料

理や伝統工芸品、様々な銘酒などが購入できますので、どうぞご利用ください。

問 「ふるさと子どもドリーム支援事業」について

来年度以降も継続できないでしょうか。(「県政モニター会議」より)

- 答: ドリーム支援事業は平成11年度限りの事業として実施しましたが、今後は、今回の事業のノウハウを活かし、本県の未来を築く子どもたちの「夢」を育む総合的な学習の推進に取り組んでまいります。

問 ワカサギ釣りにおけるごみの散乱について

八郎湖のワカサギ釣り客の中には、風除けのための段ポールや板、暖を取るための練炭などを氷の上に置き去りにする人もいます。マナー向上のためのPRをお願いします。(「県政モニター会議」より)

- 答: 県では、周辺市町村とともに、ゴミの持ち帰りを促す立て看板を設置しているほか、地元の皆さんの協力のもと、八郎湖クリーンアップ作戦を行っています。今後も釣り客のモラル向上等について効果的な対策の検討やPRを続けていきたいと思ひます。

TOPICS

北から南から

県心身障害者コロニー 整備事業完成

県が段階的に進めてきた「心身障害者コロニー」整備事業が完成し、12月1日に記念式典が行われました。

コロニーは、知的障害者の総合援護施設として、昭和46年に西目町に開設された施設で、現在約500人の障害者が生活していますが、建物の老朽化が進んだことから、平成4年度に改築に着手しました。高齢者更生施設や診療所、体育館などの改築を経て、8年間におよぶ整備事業が完成しました。



クライミングウォールに 挑戦してみませんか

県立スポーツ会館で工事が進められていた「クライミングウォール（登はん用人工壁）」が完成し、12月1日に落成式が行われました。

クライミングウォールは、本来自然の岩場で行われるクライミングを身近な場所でもできるように開発されたもので、国体の登はん競技やフリークライミングなどに利用されています。完成したクライミングウォールは、上級者用と初級者用の2面あり、それぞれ高さ12^m、幅4^mとなっています。



山岳連盟の資格者が同伴すれば、一般の方も利用できます。

申込および問い合わせ先
県スポーツ会館
TEL018-864-7911

県航空隊基地完成

秋田空港内で工事が進められていた「消防防災航空隊・警察航空隊基地」が完成し、12月16日に開所式が行われました。

同基地は、県消防防災航空隊と県警察航空隊が共用するもので、全国でも初めてのケースです。鉄骨造り2階建ての格納庫には、消防防災航空隊の「なまはげ」と警察航空隊の「やまどり」の2機のヘリコプターを格納するほか、応援機用のスペースを1機分確保しており、県民の安全を守るための活躍が期待されます。



「スガヨはあっさりした味の魚ださげエビのタシの味噌汁が最高だな。醤油味の煮付けもいいもんだ。なして男鹿の方の漁師たちは食わねもんだへ…」
「干物にしてもウメもんだ。頭と内臓を取ってヌルヌルが消えるまで干すんだ。串に刺して軒先に吊せば、それこそスガヨコみでだ」と越川さんは笑う。
越川さんの教え通り、干物を作ってみた。ヌメリが取れた生干しの状態で焼いてみると、ふわふわした身で極めて上品な味がした。やっぱり、沖で捨ててくるのはもったいない。

ボクにスガヨのおいしさを教えてくれたのは金浦町の漁師、越川勤三さん。越川さんは一年前まで底引き漁船に乗っており、取材で乗船したボクにスガヨとガサエビ(クロザコエビ)の味噌汁を作ってくちそうしてくれた方だ。

越川勤三さん(74)は底引き漁船を降りた今も、漁船が入港する頃になると港にきて水揚げの手伝いをしている。



スガヨはいわゆる深海魚。全長25cmにもなる。

登場

秋田の元気人

旧小坂鉦山事務所の移築復元に取り組む石工

宮沢真紀さん(29)

鹿角市大湯に住む宮沢真紀さんは、女性では数少ない^{ししく}石工。男鹿石などの自然石を割って作られた石材^{けんちし}(間知石)を加工して積み上げ、石垣などを作るのが石工の仕事です。土止めの機能と建築物の美観を整えるため、機械とハンマーで一つ一つ間知石を削っていきます。

現在、主に取り組んでいるのは、旧小坂鉦山事務所を康楽館の隣に移築復元する工事です。現存する基礎部分の石材を痛めないように移設したり、新たに建物の周囲に石垣を作ったりしました。

宮沢さんは、23才の時に同じ石工であるお父さんの仕事を手伝ったのがきっかけで、この世界に入りました。一般的に、石工が1人前になるまで10年ほどかかるとのこと、7年目の宮沢さんはまだ勉強中です。木目と同じように石にも目があり、熟練した職人は、これを見分けて簡単に石を形作っていくそうですが、宮沢さんは、何度か打ち続けてようやく割れることがしばしばだそうです。

技術はもとより、力の要る仕事。大きな石は持ち上げられないというものの「普通の男の人よりは力があると思う」と自信もどかせる宮沢さん。「何百年も残る仕事に従事できて良かった。この仕事をできるだけ長く続けたい」と笑顔で抱負を語ってくれました。



左側が宮沢さん



大館アメッコ市

400年の歴史を誇る大館アメッコ市。このアメを食べるとカゼをひかないと言われ、かわいいうアメ細工を売る露店がたくさん立ち並びます。周辺の山々に棲む神様がアメを買いに来る様子を再現した「白ひげ大神巡行」も行われます。

開催日 2月11日(金)・12日(土)

場所 大館市大町中央通り

問い合わせ先 大館市観光協会

TEL 0186-42-4360

なまはげ柴灯まつり

大晦日の行事「なまはげ」と正月3日の神事「柴灯まつり」を組み合わせた「なまはげ柴灯まつり」。燃え上がる柴灯火の前に繰り広げられるなまはげの太鼓と踊りは迫力満点。13日には日中もさまざまなイベントが行われます。

開催日 2月13日(日)~15日(火)

場所 男鹿市北浦・真山神社境内

問い合わせ先 なまはげ柴灯まつり実行委員会

TEL 0185-23-2111

田沢湖高原雪祭り

田沢湖スキー場の恒例イベント。だれでも参加できる雪中ゲームやスキー運動会、雪像展示、花火などがスキー場で楽しめます。

開催日 2月26日(土)・27日(日)

場所 秋田県田沢湖スキー場特設会場

問い合わせ先 田沢湖観光情報センター「フォレイク」

TEL 0187-43-2111

平成12年度放送大学の学生を募集しています(第1学期4月授業開始)

放送大学秋田学習センターでは、第1学期入学の学生を募集しています。300以上の科目から選択でき、テレビ・ラジオを利用して学習します。

募集対象 18歳以上(選科・科目履修生については15歳以上)

募集期間 2月15日(火)まで

申込および問い合わせ先

秋田市手形(秋田大学内)放送大学秋田学習センター

TEL 018-831-1997

秋田の方言では氷のことをスガモしくはシガと呼ぶが、この魚はまさに冬の軒先にぶら下がるスガの形をしている。表面はヌルヌルした寒天質で覆われており、全体的に白っぽい。まさにスガ(氷)(魚)という名前がぴったりな魚だ。

正式名称はノロクダといい水深三〇〇cm前後の深海に生息しているが、この水深にはタラやハタハタが生息しており、これらの魚と一緒に水揚げされる。しかし、残念ながら象潟や金浦など県南の沿岸部以外には流通していない。

八森町を中心とする県北部漁協の職員に聞くと、「オコシでもあの魚は網に入るとも沖で捨ててくる」と言っし、男鹿

春夏秋冬
こぼれ話

文 小西一三 絵 小西由紀子

シリーズ⑩ つららのような形の魚は、その名もずばりスガ(氷)魚)

秋田県からの

今年の農作業に使用する軽油の免税手続きを!

県内各県税事務所では、農業用機械の燃料に使用する軽油について、軽油引取税の免税証の交付申請を受け付けています。各県税事務所に受付日等をご確認のうえ、手続きをしてください。また、町村によっては出張交付を行っていますので、あわせてご確認ください。申請には印鑑、免税軽油使用者証、耕作証明書、前年分の軽油納品書・報告書が必要です。また、新たに申請する方や使用者証の有効期限の切れている方は、使用者証交付手数料400円と農業用機械の購入または所有の証明書もご用意ください。
問い合わせ先 最寄りの県税事務所

県立大学開学記念公開講座を開設します

日時 2月19日(土)午後1時~3時30分
テーマ 「生命科学の時代に向けて」
「みんなで考えよう遺伝子組み換え—遺伝子組み換えの科学—」
会場 アトリオン地下1階多目的ホール(秋田市)
定員 先着80人(受講料は無料)
問い合わせ先 県立大学リエゾンオフィスTEL018-872-1557
FAX018-872-1673

平成11年度クリーニング師試験を行います

試験日 3月2日(木)
試験会場 秋田県環境衛生会館(秋田市千秋矢留町1-19)
願書の配布期間 2月1日(火)~2月8日(火)
願書の受付期間 2月3日(木)~2月10日(木)
願書の配布及び問い合わせ先
県環境衛生課TEL018-860-1592 または県の各保健所

平成11年度青少年リーダー実践セミナーを開催します

地域で活動しているグループ・サークルのリーダーや社会参加活動を行いたいと思っている方々が一堂に会して、日ごろの活動の実践報告や情報交換を通して連帯感を深め、青少年活動の充実を図ります。
開催日 3月11日(土)・12日(日)
場所 秋田県健康増進交流センター「ユフォーレ」(河辺町)
募集人員 25人(参加経費は主催者が負担します)
問い合わせ先 県青少年女性課TEL018-860-1552

秋田中央道路に関する情報提供について

JR秋田駅の東西地域を自動車専用道路で結ぶ「秋田中央道路」について、県では広小路側のお堀の下を通す案を採用することとしました。今後、都市計画地方審議会に変更計画案を諮問し、計画変更後、平成19年度を目標に片側1車線の対面通行での暫定開通を目指します。
「秋田中央道路」についてはホームページを開設してその内容を紹介しておりますのでご利用ください。
ホームページアドレス : <http://www.pref.akita.jp/tosi/chuo/index.htm>
問い合わせ先 県都市計画課TEL018-860-2445

2000イデハのくにの雪まつりを開催します

澄み切った夜空に打ち上げられる「冬花火」、子どもたちが雪でとことん遊べる「スノーキッズランド」、心も体も温まる「屋台コーナー」など、雪を楽しむ新しい冬祭りに出かけてみませんか。
開催日時 2月12日(土)正午~午後8時
場所 秋田ふるさと村・お祭り広場(横手市)
問い合わせ先 イデハのくにの雪まつり実行委員会TEL0182-32-1170

のお知らせ

アトリオンから美術展・コンサートのお知らせ

「郷土秋田に集う県人作家展」首都圏で光彩を放つ美術家たち
会期 1月21日(金)~2月20日(日)午前10時~午後6時
会場 アトリオン2階美術展示ホール
料金 一般・大学生600円、中学・高校生300円
美術講演会 2月5日(土)午後1時~ アトリオン3階研修室
講師:遠藤洪平六氏(彫刻家・秋田市出身)
「ゲヴァントハウス管弦楽団&聖トマス教会合唱団」
21世紀へ問いかける壮麗無比の音楽ドラマ「マタイ受難曲」
開催日時 3月6日(月)午後6時30分~ 料金 9,000円(全席指定)
問い合わせ先 県総合生活文化会館TEL018-836-7801

秋田県庁第二庁舎への課室移転のお知らせ

秋田市山王三丁目(旧秋田市体育館跡地)に建設された秋田県庁第二庁舎に移転入居する県機関等の業務開始日、電話番号等は次のとおりです。

課室名	階数	業務開始日	電話番号	FAX番号
情報システム開発室	5階	業務開始済	018-860-4271	018-860-4208
情報公開室	1階	業務開始済	018-860-4091	018-860-4093
産業振興プラザ				
中小企業経営指導センター	2階	業務開始済	018-860-5512	018-860-5524
秋田テクノポリス開発機構	2階	業務開始済	018-860-5700	018-860-5704
中小企業振興公社	2階	1月28日	018-860-5603	018-860-2390
教育庁				
総務課	7階	業務開始済	018-860-3111	018-860-3851
幼児・養護教育課	7階	業務開始済	018-860-3131	018-860-3136
義務教育課	7階	業務開始済	018-860-3141	018-860-3862
高校教育課	7階	業務開始済	018-860-3161	018-860-3808
生涯学習課	7階	業務開始済	018-860-3181	018-860-3816
文化課	7階	業務開始済	018-860-3191	018-860-3886
保健体育課	7階	業務開始済	018-860-3202	018-860-3207
福利課	7階	業務開始済	018-860-3221	018-860-3800
企業局				
総務課	6階	2月7日	018-860-5011	018-860-5831
業務課	6階	2月7日	018-860-5031	
工務課	6階	2月7日	018-860-5051	
電気課	6階	2月7日	018-860-5071	018-860-5824
消防防災課	4階	2月17日	018-860-4561	018-824-1190
環境監視情報センター	6階	4月1日	018-860-4010	018-860-4016
災害・医療救急情報センター	4階	4月1日	018-866-9900	018-866-9901
第二庁舎警備員室	1階	業務開始済	018-860-5500	018-860-5502

問い合わせ先 県管財課TEL018-860-2731

県政ガイド

ラジオ 県庁だより ABS 11:45~11:50(月~金)
モーニングスマイル エフエム秋田 8:30~8:55(毎週土曜日)

テレビ テレビ県民室 ABS 11:00~11:15(毎週日曜日)
秋田花まるっ AKT 21:54~22:00(毎週月曜日)
あきた東西南北 AAB 9:30~9:45(毎週土曜日)

美の国秋田ネット URL <http://www.pref.akita.jp/>

表紙の写真

北海道出身の陶芸家・森田勇さんは、秋田市上新城松木台の「須恵沢窯」に陶房を構えて11年になります。森田さんは、素材に地元上新城の土を使い、登窯で皿や小鉢、湯飲みなどを焼き上げています。現在は、アトリオンでの展示会や陶房での陶芸教室も行っています。一つ一つ違った形や色を持つ味わい深い作品に、森田さんの技と感性が感じられます。

県政だより「あきた新時代」は、点字版・音読テープ版も発行しています。ご希望の方は広報課(TEL018-860-1073)までお知らせ下さい。



県人口 1,195,874人
男 567,665人
女 628,209人

世帯数 389,895世帯
(平成11年12月1日現在)